

広報

あさひまち

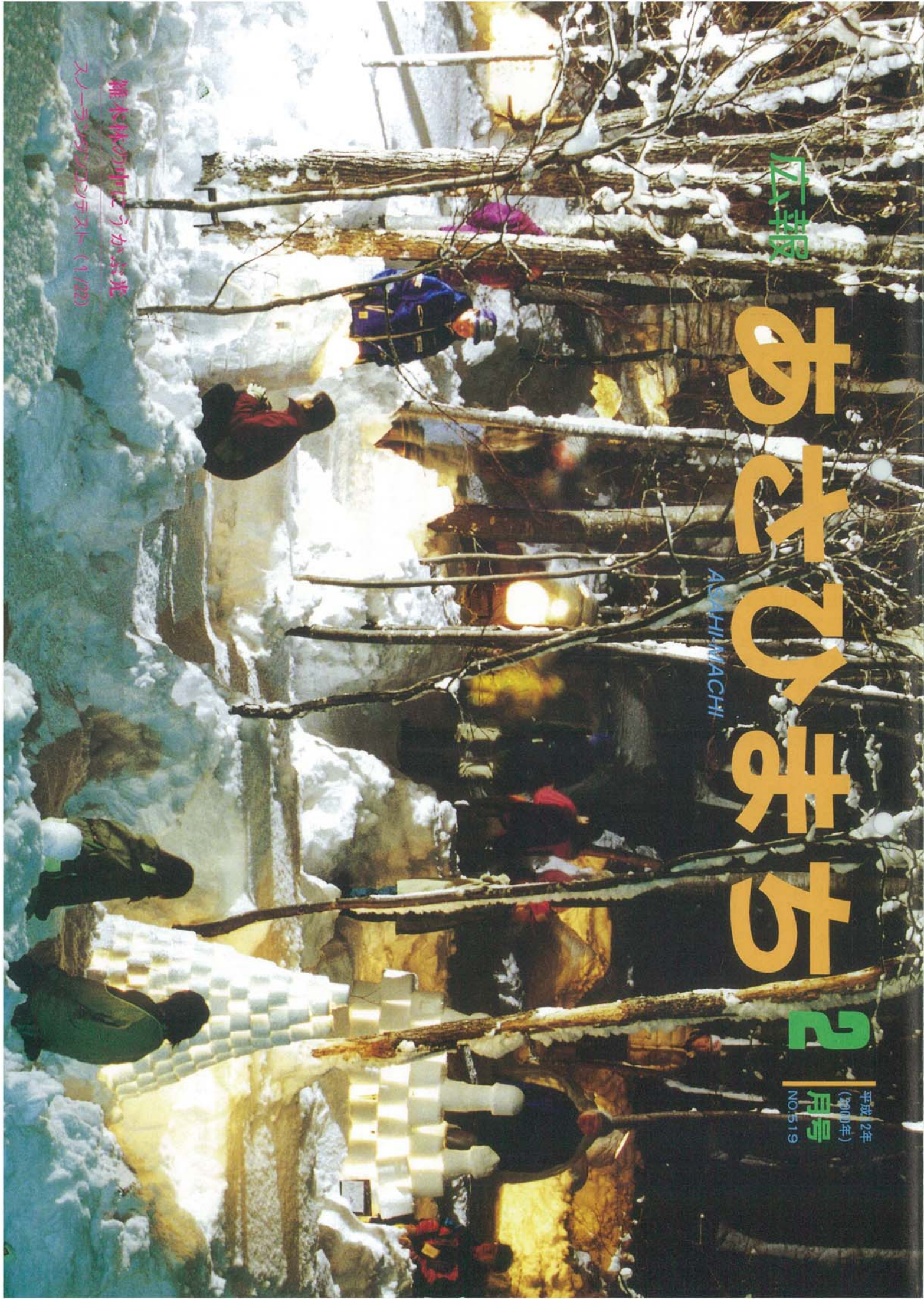
ASAHIMACHI

2

平成2年
(2000年)
月号
NO.519

離本林の中はうかがふ光

スノーランドのクリスマス (1/22)



地域に根ざした教育を めざして

朝日町らしい「地域に根ざした教育」の推進を図ろうと、町教育研究所が設立されてから、丸二年が過ぎようとしています。
今月の特集は、未来を担う子どもたちのために研究・研修を重ねている町教育研究所の取り組みを紹介します。



『西五百川小学校2年生の授業から』

- ①創造性豊かな設計図。目標をもって取り組もうと作成された。
- ②地域の先生、白田さん。子供たちの自主性を大切にしながら、アドバイスをします。
- ③「ノコギリの使い方はむずかしいな」。子どもたちは、自ら体験することで多くのことを学びます。
- ④子どもたち同士、協力しながら作業を進めています。
- ⑤捨てるはずのペットボトルを再利用。
- ⑥「木を大切にしてくださいね」と話す地域の先生、海野さん。
- ⑦後日開いた祖父母学級。昔のおもちゃを通して、世代交流も。

この日、二年生は昔のおもちゃづくりに挑戦しました。テレビゲームが遊びの主体となっている今、昔のように自分でおもちゃを作ることには、めったにありません。では、作るのが嫌いかというとういうわけではありません。子どもたちは工作が大好きです。

学習の始まりは、昔のおもちゃの作り方や遊び方を家の人に聞くことから。次に、設計と材料集め。身近にあるペットボトルやクリーニングハンガー、ビニールなどの廃材を使って、どんなおもちゃを作るかを考えます。ここまでが下準備です。

身近にあるものを使って 昔のおもちゃをつくらう

町教育研究所では、昨年の十月十九日に授業研究会を開催しました。これは県教育委員会の『学校文化の創造』推進校の委託を受け「生きる力を育む郷土学習」に取り組んでいる西五百川小学校（安藤昭郎校長・児童数百三十四名）の実践を視察し研修を深めたものです。

各学年とも、身近な「郷土の素材」を利用した郷土学習を進めていました。その中から、二年生の授業を紹介しましょう。

上手につくる技や知恵を 教えてくれた「地域の先生」

この日は、担任の多田先生のほかに地域の先生が二人。白田光郎さん（常盤）と海野強さん（西船渡）です。作るおもちゃは、おじいさんやお父さんたちが幼い時に遊んだ「凧」や「だるまおとし」など六種類。広い体育館で、グループに分かれて作業を始めました。

「だるまおとし」はノコギリを使って作ります。しかし、初めて使ったノコギリは、なかなかうまく動きません。「ノコギリは、引っぱる時に力を入れるんだよ」と、海野先生が教えてくれて再度挑戦です。今度はうまく切れました。

「やった。完成だ」 子どもたちの顔に満足感が

悪戦苦闘の末、自分の手で作った、世界でたった一つのおもちゃがついに完成しました。

反省会では、地域の先生から教わったとおり紙を切りました。そうしたら、いつもより上手に切れました。「鉄砲を作ったけれど、玉が真っすぐに飛ばな



大人が持つ 技や知恵を 子どもたちに

地域の先生
白田光郎さん（常盤）

凧づくりのおじさんとして、西五百川小学校に招かれ、果たして自分に先生がつとまるだろうかと思い、最初は不安でした。今の子どもたちは、あまり感情を表さないと聞きますが、授業中の積極的な態度には、とてもびっくりしました。「なぜ？どうやったら上手にできるの？」と、いろいろと質問してくるので。また、友だちと協力しながら作る姿も見受けられ、大変ほえましく思いました。

反面、手先の不器用さや要領の悪さも感じました。ひも結びが出来ない子どもが多いこと。今は、便利な世の中になっているので、仕方のないことかも知れませんが…。私たち大人が持つ技や知恵を、子どもたちに伝えていかなければならないと強く感じましたね。

地域の先生は、自分の出来ること、得意とすることを子どもたちに教えることが役目ですが、「うその教え」は決して出来ないで、自分自身もっと勉強しなければならないと思いました。そして、地域の持つすばらしい文化や歴史などをたくさん子どもたちに伝えていけたらと思っています。



(上) 西五百川小学校の教師と父母の会が作成した「子どもに残したい郷土の宝」親たちも郷土に目を向け始めている。
(下) 地域にひらかれた学校をめざし積極的な活動を展開している西五百川小学校

進め
るの
も
大
き
な
特
徴
で
す。

3月	2月	1月	12月	11月	10月	8月	7月	6月	5月	4月
郷土のおやつ (家庭／おやつづくり)	朝日自然観(体育／スキー) 保安林(社会／住みよい国土と環境)	朝日自然観(体育／スキー)	松程のダチョウ(社会／日本と世界を結ぶ貿易)	宅配取次店(社会／列島を走るトラック便)	新聞記事 (社会／ニュースを伝える)	りんごの人工受粉 (理科／花から実へ)	自動車の修理工場(社会／工業のさかんな地域)	朝日川橋下 (理科／魚の誕生と育ち) 校庭植物(国語／詩の世界)	今平のたらの芽栽培農家 (社会／野菜の生産地)	常盤の休耕田、看板(社会／米作りのさかんな地域)

▼郷土学習教材一覧表(五年生)

かった。どこが悪かったのか、調べて作り直してみます」などと感想を話していました。子どもたちは、この体験を通して、いろんなことを学んだようです。

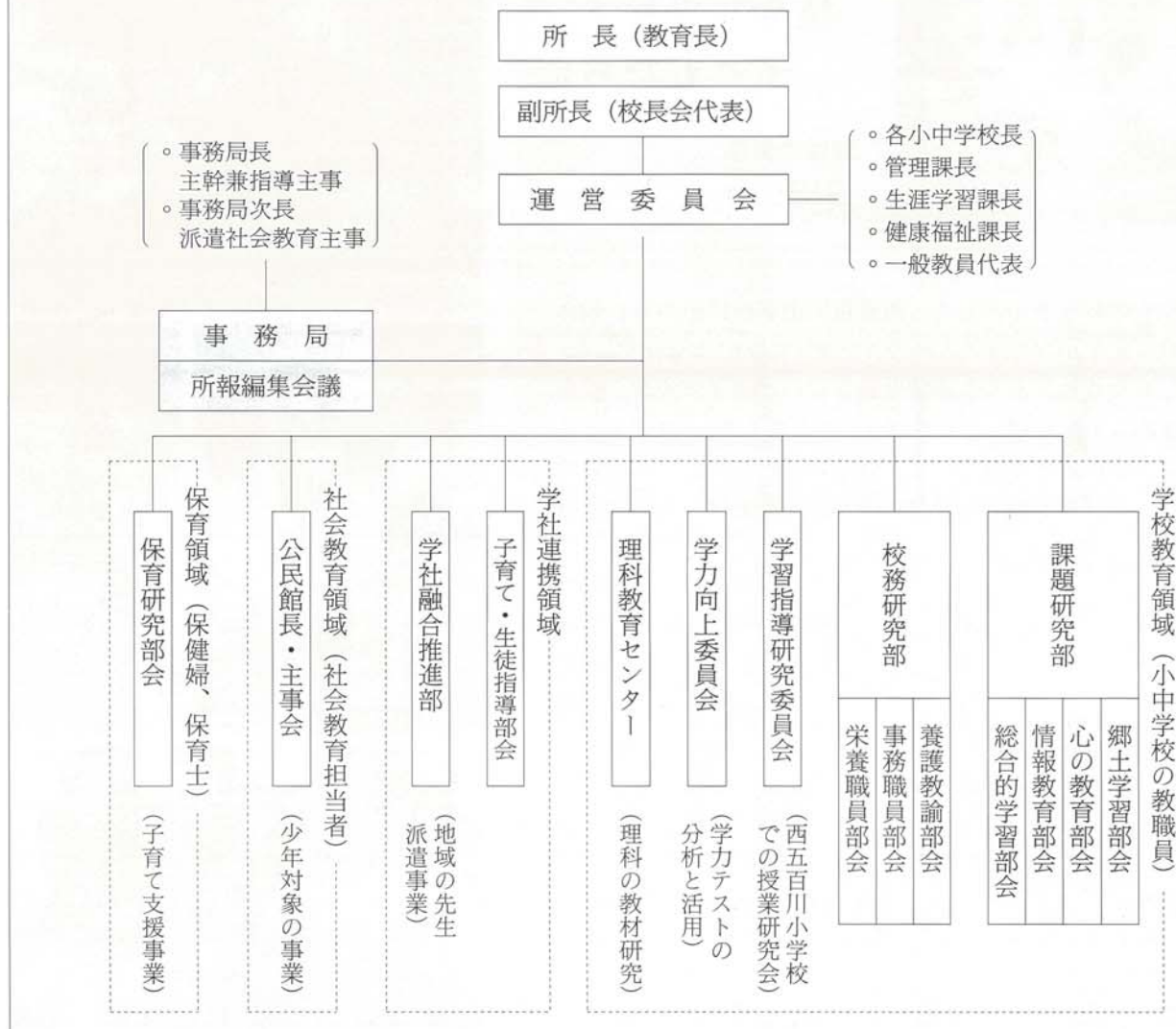
「郷土の素材」と 「郷土の人材」を生かした学習

このような授業は、二年生以外でも同様に行われています。郷土学習については、これまで

も各学校で取り入れられてきましたが、西五百川小学校の特徴的な点は、ゆとりの時間のほかに、教科の中にも出来る限り「郷土の素材」を取り入れるようにしているところです。上の表は、五年生の郷土学習の教材一覧表です。松程のダチョウや朝日自然観も立派な教材として活用されています。また、白田さんや海野さんのような「郷土の人材(地域の先生)」の協力を得ながら進め

【図①】

平成11年度朝日町教育研究所機構図



今後求められる 特色ある学校づくり

平成十四年度から、国が示す学校教育にかかわる指針「学習指導要領」が変わります。一口に言うのは難しいのですが、子供たちが自ら学び、自ら考え、判断し問題を解決しようとする力「生きる力」を育てる教育に変わっていくのです。

これからは、西五百川小学校のような、学校や地域の特徴を生かした「特色ある学校づくり」が求められてきます。

町教育研究所の役割

学校が変わろうとしている今、町教育研究所の果たす役割は、とても重要です。なぜなら、教育に携わる職員が研究や研修を行う機関で、地域に根ざした教育の推進」を目的に運営がなされているからです。

町教育研究所は、平成十年四月に設立されました。研究所の体制は【図①】のようになっています。大きな特徴は、学校教育の分野だけではなく、広く乳幼児期の教育や少年期の社会教育も対象としているところです。ですから、小中学校の教職員だ

けではなく、町の保育士や保健婦、社会教育の担当者らも朝日町の教育について研究、研修を行っています。それぞれの領域で事業を展開することはもちろん、お互いが情報を交換し、協力し合う領域(学社連携領域)も設けられています。

それでは、今年度の主な活動を紹介します。

課題解決にむけて 取り組む研究活動

▼郷土学習部会 地域のことをどう学校で取り上げていくか、八ッ沼の歴史について現地での研修などを行いました。

▼心の教育部会 カウンセリングの方法について専門家の指導を受け、学校における教育相談の在り方の研修をしました。

▼情報教育部会 コンピュータの操作や教材ソフトの活用についての講習を行い、授業に生かせるようにしています。

▼総合的学習部会 来年度から一部実施される総合的な学習の時間について、どんな学習なのか、どう取り組んでいくのかを研修しました。

▼養護教諭部会 「食に関する保健指導」に使える、子どもたちに分かりやすい教材を作り、



- ①ハツ沼の登坂高典さんを講師にハツ沼の歴史を学ぶ。(郷土学習部会)
- ②コンピュータの操作や教材ソフトの活用を研修。(情報教育部会)
- ③子どもたちに分かりやすい教材を作製。(養護教諭部会)
- ④「地域の先生」を朝日中学校に派遣。(学社融合推進部)
- ⑤未入園児の子育てを支援。(保育領域)
- ⑥年に一度、研究員全員が集合して行われる。(全体研修会)

学校での指導に役立てることができました。

各分野のつながりを 生かした取り組み

▼子育て・生徒指導部会 子どもたちの育成に関わる各機関や組織の代表が、情報を共有することによって健全育成をめざすことをねらいとしています。

子どもたちの問題行動や不登校について話し合い、家庭との関わり方や関係機関との連携について、研究を深めることができました。

▼学社融合推進部 小中学校の学習活動を支援する社会人のボランティアの体制を確立するため、「地域の先生派遣事業」を立ち上げました。これは、学校からの依頼に基づき、講師を派遣する制度です。それぞれの道で活躍する地域の先生とふれあうことで、生徒たちの学習活動に広がりを持たせることができました。

▼保育領域 各保育園では、家庭・地域の育児力の向上を図るために、子育てについて悩みを出し合い、情報を交換する場を設けています。また、乳幼児検診の場に保育士が出向き、子どもと遊んだり、お母さんたちに

子育てのポイントを話すなど、保健婦との連携を生かした事業を実施しています。

▼全体研修会 五月の研究所全員集会の折に、学校心理学の廣田寛子先生の講演会を開催しました。スクールカウンセラーとして気付いた点や子どもを理解するための考え方、より良い対応の仕方について研修しました。

「地域に根ざした教育」という目標に向かって

以上のように、町教育研究所では、各領域・部会ごとに、それぞれテーマを設定し研究・研修を進めています。

今後もこのような取り組みを進めていくとともに、学習指導要領の改訂にともない始まる「総合的な学習の時間」などの研究も進めていきます。

また、子どもたちを健全に育てていくために、地域や学校・家庭との連携をどう深めていくかといった研究も行っていく予定です。

これらを含め、朝日町らしい「地域に根ざした教育」という目標に向かって、町教育研究所はさらに研究・研修を重ねていきます。

年の初めに長寿を祝う



家族の支えも大切です。
めでたく百歳を迎えられた佐藤ヨシエさん(中央)とご家族

今年も健康でお過ごしくださいね。

一月六日、清野町長らが町内のお年寄り宅を訪問し、長寿をお祝いする賀詞と記念品を贈呈しました。今年の該当者は、上寿者(百歳以上)三人、白寿者(九十九歳)三人、米寿者(八十八歳)五十八人です。

今年めでたく百歳を迎えられた佐藤ヨシエさん(助ノ巻)は、「好き嫌いなく何でも食べるこ

とが長生きの秘訣だが。玄孫と仲良く、時代劇のテレビを見るのが何よりの楽しみだ」と、しっかりした口調で語ってくれました。

上寿、白寿、米寿を迎えられたみなさんは次のとおりです。

(順不同・敬称略)

◇上寿者

藤澤ひて乃(杉山)／熊谷タケエ(小原)／佐藤ヨシエ(助ノ巻)

◇白寿者

柴田さく(四ノ沢)／鈴木イチ(四ノ沢)／相座みゑ(四ノ沢)

◇米寿者
鈴木とみ(本町)／今井フミ(西町)／井澤利紀雄(助ノ巻)

柴田民五郎(大町)／志藤まつ江(大町)／小松きぬゑ(大町)

高坂ゆう(大町)／渡辺きくよ(元町)／清野とき江(元町)

志藤武一(前田沢)／今井正枝(新宿)／佐藤やす(新宿)／鈴木ツヤ(四ノ沢)／長岡きよ

菊地卯平(四ノ沢)／鈴木とく(四ノ沢)／熊谷さたる(四ノ

沢)／鈴木傳次郎(四ノ沢)／佐藤七郎右衛門(小原)／鈴木さと(小原)／佐藤恒雄(小原)

菅井つよゑ(沼向)／清野たまよ(古楨)／柴田ミツエ(大滝)

長岡よし(常盤)／佐竹りつ(常盤)／鈴木とくゑ(西船渡)

鈴木権三郎(西船渡)／宮本武(西船渡)／佐竹房吉(八ッ沼)

伊藤角之助(能中)／海野ちよ(能中)／村山ひろの(太郎二)

長岡あさゑ(太郎二)／佐藤毎三(石須部)／鈴木たみ(松程)

佐竹きよゑ(松程)／阿部辨治(今平)／塚本天英(大谷二)

鈴木泰助(大谷三)／長岡すみ(大谷三)／川村チヨノ(大谷三)

三／白田圭次(大谷四)／東つるの(大谷四)／吉田ジュン(大谷四)

四／松田ちるゑ(大谷四)／長岡きよゑ(大谷五)／白田しげ(大谷五)／堀りん(大谷六)

白井幸子(大谷六)／遠藤とみ(真中)／遠藤儀蔵(真中)／五十嵐ふみ江(舟渡)／堀勝太郎(栗木沢)／小林貞三郎(大沼)／宮林なつゑ(大沼)



みんなで
育てよう

介護保険③

どうなるの？気になる保険料

保険料の額は

□第1号被保険者(65歳以上)

第1号被保険者の保険料は、介護サービスの提供にかかる費用をもとに算定して朝日町が決めます。額については、3月の議会で決定される予定です。

平成12年から14年までの3年間は、保険料が変わらないことになっています。

□第2号被保険者(40歳以上65歳未満)

第2号被保険者の保険料は、各市町村で定めるのではなく、全国単位で設定されます。

各個人の額は、加入している医療保険の算定方法にもとづいて決まります。現時点での平均的な月額として、社会保険や共済組合加入者などで1,500円程度、健

康保険組合加入者で2,000円程度、市町村の国民健康保険加入者で1,300円程度になると試算されています。

保険料の徴収は

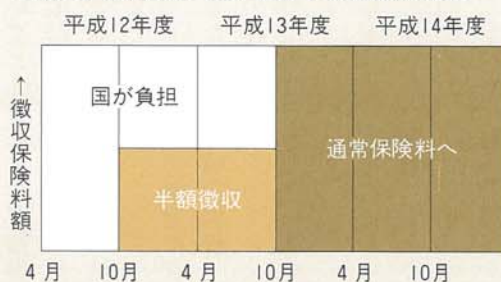
□第1号被保険者(65歳以上)

4月1日から半年間は徴収せず、その後1年間も半額に軽減(軽減分は国が負担)します。【下図参照】

□第2号被保険者(40歳以上65歳未満)

現在加入している医療保険料に上乗せして4月から徴収することになります。

徴収する保険料額(第1号被保険者)



町づくりNPO 「朝日町エコミュージアム協会」発足



設立総会

〈NPO〉行政や企業とは別に社会的活動をする非営利の民間組織。1998年に法人格を与え、活動を支援するための特定非営利活動推進法（NPO法）が成立された。

エコミュージアムの町づくりをさらに推進していくと、「非営利法人朝日町エコミュージアム協会」が設立されました。

12月22日、設立総会が町中央公民館で開かれ、理事長に菅井進さん（沼向）が選ばれました。

また、今年の事業として、まちの案内人養成講座（6月）、観光地の案内板設置（7月）、エコミュージアムを紹介するイベントの実施（10月）、会報の発行などが計画されました。

民間非営利組織（NPO）の法人格取得については、すでに県への申請を終えました。3月上旬には正式な認証を受け、4月から本格的な活動をスタートさせる予定です。エコミュージアムの町づくりの推進母体として、今後の活躍が期待されます。



むし歯ゼロ賞

10月20日に行われた3歳児健診で、むし歯ゼロ賞に輝いたおともだちです。



深澤 龍観くん
（助ノ巻・雅人）



菅井 桃香ちゃん
（大町・信彦）



伊藤 太樹くん
（大町・淳）



黒田 雅人くん
（宿・昌喜）



齊藤 悠飛くん
（常盤・充人）



田川 翔平くん
（八ツ沼・栄樹）



志藤 京介くん
（大谷五・浩之）



長岡 彩佳ちゃん
（大谷六・芳徳）



鈴木 翔子ちゃん
（大谷七・吉弘）



五十嵐優衣ちゃん
（中沢・和明）

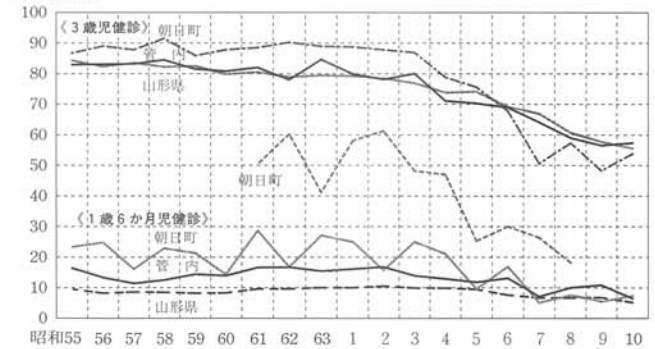


志藤 慶太くん
（川通・宣徳）



白田 知也くん
（大沼・修一）

（単位名：％）



3歳児歯科健診

朝日町が 県歯科保健功労賞を受賞

第二回山形県歯科保健大会が十一月十三日に山形市で開催され、朝日町が歯科保健功労団体として表彰されました。

平成二年から六年まで、山形県むし歯半減対策事業に取り組み、その後もフッ素塗布やフッ素洗口など町独自で事業を行い、乳幼児のむし歯予防に積極的に取り組んできたことが評価されたものです。

今後も家庭と行政とが一体となって、むし歯ゼロ運動を進めていきたいと思います。

みんなのひろば



西町／

大竹 清巳さん
由希子さん



新婚さん

4年前に友だちを通して知り合ったというお二人。付き合い始めて5年目、そろそろ身を固めなくてはと思っていた清巳さんは「長男だけど、弟が家を継ぐって言うてくれていたから…」と、迷う事なく寒河江市からお婿さんに来ることを決心。そして、2000年を迎えた先月入籍しました。由希子さんのお父さんは「長女が嫁ぎ、下も嫁に行くだろうと覚悟していたのに、思いがけず願いがかなって…。婿というより息子ができた感じ。趣味も合うんだ」と大喜び。「今までいろいろあったけれど、やっぱりこいつだ!」って思った。やばばづするぐらいのあつつい夫婦をめざしてます!。まず、位牌持ちの男の子を作って…」と、終始ジョークを交えながら語る清巳さん。そばで笑顔でうなずきながら「体を大切にしてくださいね」と由希子さん。素敵な家庭が築けそうですね。いつまでもお幸せに。

すてきな仲間たち

宮宿剣道スポーツ少年団

56

強い体と心をつくる
剣の道



宮宿剣道スポーツ少年団は昭和56年に設立され、今年で19年目を迎えました。現在、22人の子どもたちが毎週水曜日と金曜日（3年以上）の2回、宮宿小学校体育館で稽古に励んでいます。

1月と2月の体育館はかなり寒いのですが、子どもたちは全員素足でがんばっています。この強い体と、礼に始まり礼に終わるという剣道の心には、インフルエンザも寄りつきません。

きびしい練習や試合の後には、楽しい行事も行っていますのでみんなとても仲良しです。指導して下さる先生方はやさしく（時には厳しく）教えてくださいますので、初めての方でも安心してできます。みなさんも剣道を始めてみませんか。

（代表 佐竹伸一 ☎67-2513）

各種大会成績

◆町民バレーボール大会

（11月7日 町民体育館）

男子①ベストフレンズ／②ホワイティンズ／③AIKダデエ女子①キャピキャピーズ／②アップルワーズ／③マツキーズ

◆産業まつりゲートボール大会

（11月20日 子どもの広場）

①四ノ沢／②新宿／③宮宿

◆町民柔道大会

（11月23日 町民武道館）

小学1年～3年の部

①佐竹和人（高田）／②佐竹達貴（八ツ沼）／③川村愛（真中）

小学4年～6年の部

①佐竹愛美（高田）／②佐竹大助（高田）／③菅井隆弘（沼向）

③遠藤沙也香（栗木沢）

中学・一般女子の部

①佐藤季莉佳（新宿）／②児珠藍（大町）／③佐藤裕美（西町）

③成原由香（西町）

中学・一般男子の部

①鈴木和也（前田沢）／②和田翼（小原）／③阿部豊（大暮山）

③遠藤慎太郎（栗木沢）

◆家庭婦人バレーボール大会

（12月12日 町民体育館）

①田中／②八ツ沼／③前田沢

③常盤



近藤 武さん
(栄 町)

ひとことトーク

ワウワウのぬくもりと 雪の美しさが魅力

～スノーランタンの
町をめざそう～

一月二十二日、町商工会青年部と婦人部主催の「スノーランタンコンテスト」が朝日自然観で開催され、実行委員長をやらせていただきました。

今年で四回目ということで、恒例のイベントとして知られるようになり、町内外から多数の参加者がありました。固まりにくいサラサラ雪に、みなさん悪戦苦闘しながらも、見事な作品を作り上げてくれました。

午後五時、ランタンに明かりが灯され、しばしメルヘンの世界に浸ることができました。私たち実行委員にとっては、大会成功の喜びを感じた瞬間でした。

みなさんも家の前にスノーランタンを作って、ロウソクのぬくもりと雪の美しさを楽しんでみませんか。町全体がやさしい光で包まれる「スノーランタンのまち」を作り、わが町をもっとPRしていきましょう。

エコミュージアムの小怪 ⑩

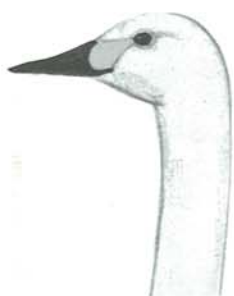
ハクチョウも町の宝物

最上川の上郷ダムには、今シーズンもたくさんさんのハクチョウが来ています。ハクチョウがくるようになって、もう二十年以上になると思いますが、朝日町民に愛され続けて、毎年やってくるのです。国内でも県内でも、ハクチョウのくる町はそう多くはありません。水面をのんびり泳いだり、エサを食べに寄ってくるハクチョウの姿は、私たちの目を楽しませ、心をおだやかにしてくれる町の宝物のひとつです。

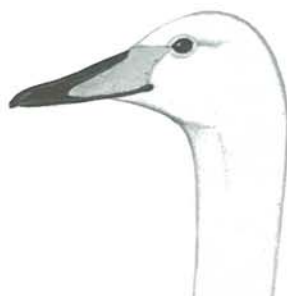
朝日町にやってくるハクチョウは、オオハクチョウとコハクチョウの二種類です。コハクチョウは、シベリア大陸の北極海に面したところで繁殖し、オオハクチョウはそれよりも南のシベリア大陸で繁殖します。そして冬になると、子どもを連れて、はるばると日本にやってくるのです。

ハクチョウの夫婦は、一生同じつがいです。また、行動もほとんどが家族単位です。観察していると、五羽ほどが群

コハクチョウ



オオハクチョウ



※オオハクチョウとコハクチョウの区別は、クチバシの黄色いところで見分けます。

れになっているのがよくわかります。

みなさん、パンくずなどを持って、ぜひ上郷ダム湖畔に足を運んでみてください。

【エコミュージアム研究機構】

みなさんからの便利でつくるコーナーです。町に対する意見や要望、みなさんのまわりのできごとや話題、日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

● 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場総務課文書広報係
Eメールアドレス
asahif21@sm.rim.or.jp
朝日町ホームページアドレス
http://www.etos.co.jp/~asahimati/

町民の声

いもがわ温泉の 利用時間について

わ たしは、いろいろな温泉に行っていますが、いもがわ温泉は特に温泉質が良く、温まり感が持続し、とても気に入っています。

ぜひ、入浴時間を週末の土曜日・日曜日だけでも延長してはもらえないでしょうか。

【匿名希望】

答 日頃より、いもがわ温泉をご利用いただきましてありがとうございます。

さて、ご要望のありました入浴時間の延長について、現在の

営業時間は、原則として午前十時から午後五時までになっています。しかし、多くの皆様方からご利用をいただくため、冬の間は午後六時まで、夜間の予約がある場合には午後九時までの営業を行っています。

夏季については、利用状況をみながら営業時間を設定する考えていますので、今後ともご利用くださいますようお願い申し上げます。

【健康福祉課】



ごみ分別説明会の 追加開催を

ご み分別説明会の日程表がお知らせに載っていました。

わたしは勤めているので、説明会に行くことができませんでした。仕方なく、ばあちゃんにお願いしましたが、「話を聞きに行っても難しくてよく分からなかった」と言います。

【匿名希望】

答 日頃、適正なごみの分別にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

ご意見を受け、次の日程でごみ分別説明会を追加開催しますので、ぜひご出席ください。

なお、説明会には、すでに配布しました三種の冊子「保存板ごみの分け方・出し方」「家庭系ごみの分け方・出し方」「平成十二年度ごみ分別改正について」をお持ちください。

ごみ分別追加説明会

◆秋葉山交遊館

2月20日(日) 午前10時～

◆西部公民館

2月20日(日) 午後2時～

◆中央公民館

2月21日(月) 午後7時～

【町民課】



図書券
が
当たる

広報
◆
クイズ



【問題】

①右の写真。今年、「〇回目」を迎えたスノーランタンコンテスト
②八十八歳は米寿。九十九歳は「〇寿」
③ただ今、募集中。「朝日町女性〇〇団員」

【応募方法】

正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で三人の方に図書券をプレゼントします。また、記事についての感想やみなさんの「冬の思い出、雪の思い出」などもお聞かせください。

【十二月号の答え】

①三平 ②大沼 ③二〇〇〇

【応募者総数】十九人

【十二月号の当選者】

佐藤主基さん(西原) 菅井道也さん(沼向) 鈴木紋子さん(大暮山)



■12月1日～31日届出

すこやかに

(出生届)

区名	出生児氏名	保護者名
栄町	武田 凌汰	哲史
大町	鈴木 遥耶	忠信
大滝	佐藤 耕雄	修
能中	海野 丞史	健市
大谷三	菅井 芽衣	建精
大谷三	菅井 茉衣	建精
松程	阿部 竜大	孝晴



おしあわせに

(婚姻届)

海野 貴弘	阿部 真子
(能中)	(大町)



やすらかに

(死亡届)

区名	死亡者氏名	世帯主
栗木沢	鶴見 キミエ	博俊
八ッ沼	佐竹 きく	幸一
大暮山	白田 國治	忠行
古横	清白 秀司	秀男
大谷五	武田 よし子	睦郎
真中	白田 むめよ	昭吉
大谷三	白田 たまき	壽巳
杉山	鈴白 幸一	京子
大沼	柴田 七郎兵衛	彰亮
大町		

■1月1日～31日届出

すこやかに

(出生届)

区名	出生児氏名	保護者名
栗木沢	遠藤 愛	和則
夏草	小林 晶	勝典
大谷二	畑 愛佳理	英俊
太郎一	長岡 快	孝二
宿	若月 麻未	亨
大滝	柴田 和渉	勝義



おしあわせに

(婚姻届)

阿部 洋二	小笠原 由美
(夏草)	(山形市)
本木 清巳	大竹 由希子
(寒河江市)	(西町)



やすらかに

(死亡届)

区名	死亡者氏名	世帯主
四ノ沢	菅井 トクエ	本人
大松町	志藤 昌芳	マス子
元程町	鈴木 野の	初雄
新宿	海野 久子	恵一
石須部	佐藤 繁	千子
大滝	長岡 嘉久治	ちる人
助ノ巻	柴田 藤男	喜久雄
四ノ沢	今野 雪香	本人

せーう先生の 朝日町生活



HAPPY NEW YEAR!

I had a wonderful Christmas and New Year's. I went to Tokyo and stayed in a very nice Japanese Ryokan. We went to the Meiji Shrine where I saw women in beautiful kimonos. It was very interesting. I would love to try on a Kimono. It would be fascinating to feel the authenticity of the culture.

After New Year's I watched the children of Miyajuku Shogakko make mochi. It was delicious, but difficult to chew. I learned a lot about the Japanese New Year's celebration.

I am very surprised at how much snow there is here. However, Canada is much colder in February. And the snow in Canada has a heavier texture.

I am looking forward to skiing this winter. Take care and enjoy the snow.

私は、素晴らしいクリスマスとお正月を過ごしました。東京に行って、とてもすてきな日本の旅館に泊まってきたのです。明治神宮を訪れ、そこで、美しい着物姿の女性たちを目にしました。着物にとっても興味をもちました。わたしも着物を着てみたい。真の文化に触れることに、とても魅力を感じますね。

お正月が明けてから、宮宿小学校で餅つきを見ました。おもちはとてもおいしかったのですが、かんで食べるのがとても難しかった。わたしは、日本のお正月を祝う行事がたくさんあることを学びました。

朝日町は、雪がとても多いので驚いています。2月のカナダは、朝日町よりももっと寒い、もっと重い雪が降ります。

この冬、私はスキーをしてみたい。みなさん、雪には十分気をつけてね。そして、大いに雪を楽しみましょう。

人口と世帯数

●平成11年12月31日現在

人口	9,642(減 2)
男	4,788(増 1)
女	4,854(減 3)
世帯数	2,588(減 1)
	() 内前月比

人口と世帯数

●平成12年1月31日現在

人口	9,631(減 11)
男	4,784(減 4)
女	4,847(減 7)
世帯数	2,587(減 1)
	() 内前月比



「雪像づくり」

20世紀を
ふりかえり1枚の写真

これは、昭和36年2月10日、上郷小学校で行われた雪まつりでのひとコマです。この日は、全校児童が雪像づくりに挑戦。5・6年生は、五年にちなんで「大きな白い牛」を作りました。背中にのつてもピクともしない見事な雪像です。ほかにも、相撲の人気力士「柏戸」の雪像なども作られたと当時の広報は伝えています。

まごころボックス

▼町へ寄付

- 志藤六郎さん(横浜市) 三十万円
- 堀 香助さん(前田沢) 二百万円
- 志藤文章さん(東京都) 百万円
- 白田順二さん(山形市) 百万円
- 佐竹瑞穂さん(夏 草) 二十万二千元

ふるさとづくり寄付金としていただきました。ありがとうございました。

女性消防団員を募集します

町消防団では、町内にお住まいの主婦やお勤めの女性で、正消防団員(非常勤)として、年間十回程度活動してくださる方を募集しています。

主な活動は、一人暮らしの高齢者への防火指導、消防団主要行事への参加、消防だよりの編集などで、募集内容は次のとおりです。

- ◆対象 町内に在住で満18歳以上の健康な方
- ◆人員 10人
- ◆締切 平成12年2月末日
- ◆申込・問合せ 役場町民課防災係

(☎67-21119)

冬 秋 夏 春

編集後記

一月二十二日、スノーランタンコンテストの取材に朝日自然観へ出かけました。会場に着くと、二十組ほどの参加者がすでに作業を始めており、わたしもはりきって取材を開始。
日が落ちた午後五時、ランタンに明かりが灯され、なんとも言えない幻想的な雰囲気、この様子を町民のみなさんに伝えたいと、カメラの特殊な機能を使った撮影に挑戦しました。

「パチ、パチ、パチ」「パチ、パチ、パチ」と、フィルム二本分を撮影し、この日の取材を終えました。
しかし、翌日できあがった写真はすべて真っ黒。どうやら、フィルムの入れ方が悪かったらしい。という訳で、表紙の写真は、スノーランタンコンテストの実行委員会よりお借りしました。どうですか、とても素敵な写真でしょう。

(F)



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。